短　歌

中村憲吉

の青葉かげろふ岩の井に花つばきにさびて映れり

庭隅にゆふさり来れば眼のごとくボンタンのほのか光れり

空とほき星のあかりに砂原は路かげくろく雪夜のごとし

ほの白く闇に起きふす砂のうへ海のきはみは星の空かも

－37－

夕ちかき枯野をあよむ足のへの眼にさむき石の肌かも

夕暮るる枯野の沈み真悲しく心をなれと石によるかも

い群れゆく人の衣のちらちらと色ににほへる街の上の春

わが息のかそけき音をそのままにうつつ静まり睡りゆくかも